

羅針盤

令和元年度第6号（通算308号）

令和元年8月5日（月）発行

岡山県総合教育センター

Tel (0866)56-9101 Fax (0866)56-9121

学習評価はどうなるの？

校内研修で活用

いよいよ小学校では令和2年度から、中学校では令和3年度から新学習指導要領が全面実施です。求められる資質・能力が三つの柱で整理され、学習評価についても、これまでの4観点（国語のみ5観点）から、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点到変わります。

学習評価の基本構造

求められる資質・能力の三つの柱

目標や内容

知識及び技能

思考力、判断力、
表現力等

学びに向かう力、
人間性等

評価の3観点

- ・観点ごとにABCの3段階で評価
- ・観点別評価の結果を総括して、評定する

知識・技能

思考・判断・表現

感性、思いやり
など

主体的に学習に
取り組む態度

個人内評価

学習の過程を通じた知識及び技能の習得状況について評価するとともに、それらを概念等として理解したり、技能を習得したりしているかについて評価します。

現行の「知識・理解」と「技能」に相当する観点です。

知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかどうかを評価します。

知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組の中で、**自らの学習を調整**しようとしているかを含めて評価します。

「粘り強く学習に取り組む側面」と「自ら学習を調整しようとする側面」の両面から評価します。

Q & A

「学びに向かう力、人間性等」と「主体的に学習に取り組む態度」は、どのように違うの？

資質・能力の三つの柱の一つ「学びに向かう力、人間性等」は、**ア、「主体的に学習に取り組む態度」として観点別学習状況の評価を通じて見取ることができる部分と、イ、観点別学習状況の評価や評定にはなじまない部分（感性、思いやり等）に分けられます。**
イ、については、個人内評価として見取り、児童生徒へ伝えます。



学習評価の観点及び趣旨の例

他の教科につきましては、平成31年3月29日付の「児童生徒の学習評価及び指導要録の改善等について(通知)」をご覧ください。

小学校 国語科

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げている。	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを広げたりしながら、言葉がもつよさを認識しようとしているとともに、言語感覚を養い、言葉をよりよく使おうとしている。

学習評価の方法例

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ○ペーパーテストで事実的な知識の習得を問う問題と知識の概念的な理解を問う問題のバランスに配慮 ○実際に知識や技能を用いる場面を設ける <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒に文章で説明させる ・観察・実験をさせたり、式やグラフで表現させたりする 	<ul style="list-style-type: none"> ○論述やレポート作成、発表、グループでの話し合い、作品の制作や表現等の多様な活動を入れる ○ポートフォリオを活用する ○ペーパーテスト 	<ul style="list-style-type: none"> ○ノートやレポート等における記述 ○授業中の発言 ○教師による行動観察 ○児童生徒による自己評価や相互評価等の状況を教師が評価を行う際に考慮する材料の一つとして用いる

学習評価で大切にしたいこと

教師の授業改善と児童生徒の学習改善につなげるために、学習評価の在り方は重要です。これまで慣行として行われてきたことでも、必要性・妥当性がないものは見直し、教育課程や学習・指導方法の改善に生かしていくことが大切です。

〈現行の学習評価の課題〉

- ・学期末などの事後での評価に終始してしまうことが多く、評価が児童生徒の具体的な学習改善につながっていない。
- ・現行の「関心・意欲・態度」の観点について、挙手の回数や毎時間ノートをとっているかなど、性格や行動面の傾向が一時的に表出された場面を捉える評価であるような誤解が払拭しきれていない。等

平成31年1月21日 文部科学省中央教育審議会
「児童生徒の学習評価の在り方について(報告)」より

〈教育課程や学習・指導方法の改善〉

- 1 カリキュラム・マネジメントの一環としての指導と評価
- 2 「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善と評価

学習評価の在り方ハンドブック (参考資料)

学習評価に関する先生方からの様々な疑問に対する答えも、このハンドブックに掲載されています。ぜひ一度ご覧ください。

国立教育政策研究所のHPにあります。



(小・中学校編)



(高等学校編)

【今後の予定】

学習評価に関する参考資料(小・中学校)については、国立教育政策研究所より11月に提示される予定。これに関わり、県教育庁義務教育課から「学習評価に関するガイドライン(仮称)」等が示され、県総合教育センターから「新学習指導要領の趣旨を踏まえた学習評価の在り方」を令和2年2月に発刊予定。